

6月12日(金) ^{ほたる} 螢

^{いちねん} 一年を ^{きせつ} 72つの季節に分けると、^{いま} 今は「^{ふそうほたるとなる}腐草為螢」です。

^{くさ} 腐った草が ^{ほたる} 螢に ^う 生まれ ^か 変わる ^{じき} 時期です。

^{にほん} 日本には、^{やく} 約 ^{しゅるい} 40種類の ^{ほたる} 螢がいます。その中で、^{なか} 光る ^{ひか} 螢、^{はっこうき} 発光器 ^も を持っているのは、^{すく} 少ないのです。^{ゆうめい} 有名なのは、^{げんじほたる} 源氏螢、^{へいけほたる} 平家螢です。

^{けい} 螢は ^{いっしょう} 一生のほとんどを ^{ようちゆう} 幼虫の ^{すがた} 姿で、^{みず} 水の中で ^{なか} 過 ^す ぎします。

そして、^{つち} 土の中で ^{なか} さなぎになり ^{せいちゆう} ます。やがて ^{せいちゆう} 成虫になると、^{みず} 水しか ^の 飲めない ^{からだ} 体になるようです。だから ^{せいちゆう} 成虫になってからは、^{いちしゅうかん} 一週間という ^{みじか} 短い ^{いのち} 命なのです。^{みじか} 短い ^{いのち} 命ですが、^{かがや} 輝くように ^と 飛び ^{まわ} 回って ^{せいかつ} 生活します。

^{みず} ずっと ^{なか} 水の中、^{つち} 土の中で ^{なか} じっとして ^{おとな} いて、やっと ^{おとな} 大人になつて ^{そと} 外に出られるようになり、^と 飛べるようになったら ^{いちしゅうかん} 一週間で ^し 死んでしまうのです。^{かわい} かわいそうだと ^{おも} 思いますか。それとも、^{じんせいさいご} 人生最後の ^{いちしゅうかん} 一週間は ^{そと} 外に出て ^と 飛び ^{まわ} 回れるから ^{しあわせ} 幸せだと ^{おも} 思いますか。

^い 生き物によって、^い 生きる ^{なが} 長さや、^{ばしょ} 生きる場所はそれぞれです。でも、^い どの ^{もの} 生き物も、^{いっしょうけんめい} 一生懸命に ^い 生きるということは、^{おな} 同じだ ^{おも} と思います。

村越 新